

財団法人日本民藝館

平成 22 年度事業計画

1. 民藝に関する展覧会及び講演などの関連事業

◆ 春期陳列【朝鮮陶磁－柳宗悦没後 50 年記念展】

期間：平成 22 年 4 月 1 日(木)―6 月 27 日(日)

内容：柳宗悦没後 50 年を記念して、館蔵する朝鮮陶磁器の優品約 270 点を紹介。本店の開催に合わせ「日本民藝館所蔵 朝鮮陶磁図録」(大韓民国文化財庁助成)を出版。

関連催事：

講演会(予定)「池成子氏伽倻琴演奏会」

主催・日本民藝館 後援：韓国文化院

日時・5 月 10 日(月) 午後 6 時～8 時 30 分

場所・日本民藝館大展示室

展示会「『柳宗悦と朝鮮陶磁』その時代」展

共催・日本民藝館 後援：韓国文化院

開催日・6 月 9 日(水)～19 日(土)

場所・韓国文化院ギャラリー

記念公開講座「柳宗悦を学ぶ-日韓文化交流の礎」

共催・日本民藝館 後援：韓国文化院

日時・6 月 15 日(火) 13 時 30 分～17 時 30 分

基調講演：講師 小倉和夫(国際交流基金理事長)

記念座談会：講師 松井健(東京大学教授) 姜尚中(東京大学教授) 李進熙(和光大学名誉教)

◆ 夏期陳列【日本の染－絞り・型・筒描】

期間：平成22年7月6日(火)―9月5日(日)

内容：絞り染や型染、筒描染などの技法による。館蔵する日本本土の衣装や夜具地などの染色品を中心に、沖縄を代表とする染物の紅型も展示。日本列島に花開いた染の精華約70点を紹介する。

記念講演「絞り染の魅力」

日時：7月24日(土) 18時00分～19時30分

講師：安藤宏子(染色家)

ワークショップ「手技体験インドラハリア絞り」

日時：8月29日(日) 13時～16時

講師：岩立広子(岩立フォークテキスタイルミュージアム館長)

◆ 秋期陳列【河井寛次郎一生誕120年記念展】

期間：平成22年9月14日(火)―11月23日(火)

内容：民藝運動の指導者の一人で、日本を代表する陶芸家・河井寛次郎の生誕120年を記念する特別展。館蔵する陶器作品約150点を中心に、河井寛次郎記念館に所蔵する「書」や『木彫』なども併せて展示する。

◆ 平成22年度【日本民藝館展－新作工芸公募展－】

期間：平成22年12月11日(土)―12月23日(木)

内容：伝統的な手仕事を中心に、日本各地の新作工芸品を展示・頒布する恒例の新作工芸公募展。

(出品作：陶磁・織物・染物・漆工・木工・金工・竹工・藁及草工・硝子工・紙・他)

◆ 冬期陳列【日本の古人形―三春・鴻巣・堤など】

期間：平成23年1月9日(日)―3月21日(月)

内容：幕末から明治期にかけて作られた、館蔵する日本の古人形の美しさを紹介。三春人形(福島県)、

鴻巣人形(埼玉県)、堤人形(宮城県)、相良人形(山形県)等の優品約100点を展示紹介する。

2. 民藝に関する普及・啓蒙推進事業

1) 国内外の他美術館及び民藝館への所蔵品貸出による民藝の普及活動

①日本民藝館の所蔵品を各地の美術館に貸出を行い民藝の振興に取り組む。

大阪日本民藝館 「民芸の美」創立40年記念 平成22年3月～7月 約150点

豊田市民藝館 「河井寛次郎」生誕120年記念展 平成22年12月～23年2月 約150点

2) 「柳宗悦全集・書簡」の一環として、新たに柳宗悦の書簡に関する企画・出版

・柳宗悦とバーナードリーチの往復書簡の出版企画

3) 他美術館及び関係団体への講師・講演活動

・日本民藝協会全国大会及び日本民藝夏期学校への講師支援

4) 博物館実習生の現場教育の機会提供

博物館学芸員の資格を習得する単位として、現場の実習を設けている大学に対して、博物館実習プログラムを実践できる機会を学生に積極的に提供する。

・実習生数：約15人程度

・実習期間：10日間(講義4日、実務実習6日)

5) 「日本民藝館友の会」会員への情報提供

・友の会会員を主たる対象としたセミナー、見学会など定期的な開催を企画していく。

・友の会情報「民藝館の特別展・記念講演・見学会の案内」を定期的に送付する。

6) 小学校との連携事業

・私立桐朋学園小学校および私立武蔵野東小学校、目黒区内の公立小学校に対して、美術鑑賞教育の企画・運営を行う。

7) 旧柳宗悦邸の一般者利用公開の促進

・関係団体、協力者への室内利用の公開を継続する。

・柳兼子記念室(旧柳邸内)の一般公開

8) 国際文化交流事業の推進

・「日英手織布研究」展 英国 3/23～6/18・・・研究支援

・「日本の刺子」展 英国・スコットランド巡回 平成21年10/10～平成22年9/26・・・出品支援

・「陶芸家 W.マッケンジーとアメリカ現代陶芸」展 益子陶芸美術館 5/16～7/28・・・展覧会支援

3. 民藝に関する工人の育成及び協力

1) 日本民藝館展の開催(新作工芸公募展)

会期：平成22年12月11日～12月23日(11日間)

出展：民藝の物作りの製作者および協力製作者を対象とした新作工芸品の公募をおこない、日本民藝館展として審査・表彰・展示・講座を通して伝統的な民藝の普及に取り組む。

2) 工藝研究講座の開催：木漆工・織物・陶磁器分野の講座開催。

4. 民藝に関する資料の収集、情報公開

1) ホームページの刷新

- ・日本民藝館運営全般に関しての理解活動を進めるために多様な情報を提供する。
所蔵品目録の電子化に伴い所蔵品の紹介等を幅広く行う。

2) 所蔵品の維持保存の促進

- ・所蔵品目録、所蔵品管理一覧表の整備
- ・電子化による整備を引続き行う共に調査研究・貸出・画像ファイル管理の一元化を図る。
- ・所蔵品の品質維持のための定期的修復と保存管理実施

5. 館の組織に関する事業

公益法人改革制度への対応

- ・平成20年12月1日からスタートした新しい公益法人制度改革に対応するため、公益法人認定基準に基づいた定款・規定・会計基準などの見直しを図り、今年度内に公益法人移行認定の申請を行う。

以上